

朝鮮半島の動き(2) ポンペオ米 국무長官の訪朝

吉 田 進

7月3日平壤で開かれる南北バスケットボール親善試合に出席する選手団とともに、韓国の趙明均統一相がソウル空港を出発した。6日までの滞在期間に金正恩朝鮮労働党委員長や金英哲副委員長らと会い、非核化問題や南北協力について協議する。

5日からのポンペオ米 국무長官の訪朝を前に、南北間の社会協力や人道支援などを強調し、非核化に向けた具体的な方法を示すよう説得する。今秋に予定される文在寅大統領の訪朝と南北首脳会談に向けた調整も会談内容に含まれているようだ。

米 국무省は、2日ポンペオ米 국무長官が6-7日に平壤を訪問すると発表した。北朝鮮の非核化をめぐる北朝鮮高官と会談する予定である。6月の米朝首脳会談後初めての高官協議となる。金正恩委員長が約束した「完全な非核化」に向けた具体的な道筋がつけられるかが問題だ。

また7,8の両日に初来日する。韓国の康京和外相も訪日する方向で調整がはじまっており、日米韓外相会談が行われる可能性が大である。

ポンペオ米 국무長官は、6-7日に平壤で開いた米朝高官協議は、非核化の検証を含む複数の作業部会の設置で合意した。完全な非核化には、北朝鮮の協力を前提にした、非核化の範囲や手順を示した工程図作りが必要だ、と記者会見で述べた。

北朝鮮外務省の報道官は米朝協議で米国が完全で検証可能かつ不可逆的な非核化(CVID)や各施設の申告・検証を一方的に迫ったとし「米国の態度は遺憾極まりない」と非難した。お互いの対応はすれ違っている。

日米韓外相会議は、北朝鮮の核を含むすべての大量破壊兵器と弾道ミサイルの「完全かつ検証可能で不可逆的な廃棄」(CVID)の実現に向け、3カ国の協力を強化していく方針で一致した。

朝鮮戦争における米兵の遺骨返還をめぐる協議を今月中旬に板門店で開くことも合意した。

米朝の非核化への対応のすれ違いとそれに対する米国の修正が注目される。マティス国防長官の動きを牽制する動きも強まっている。さて今後の道筋は？

(2018. 7. 10)